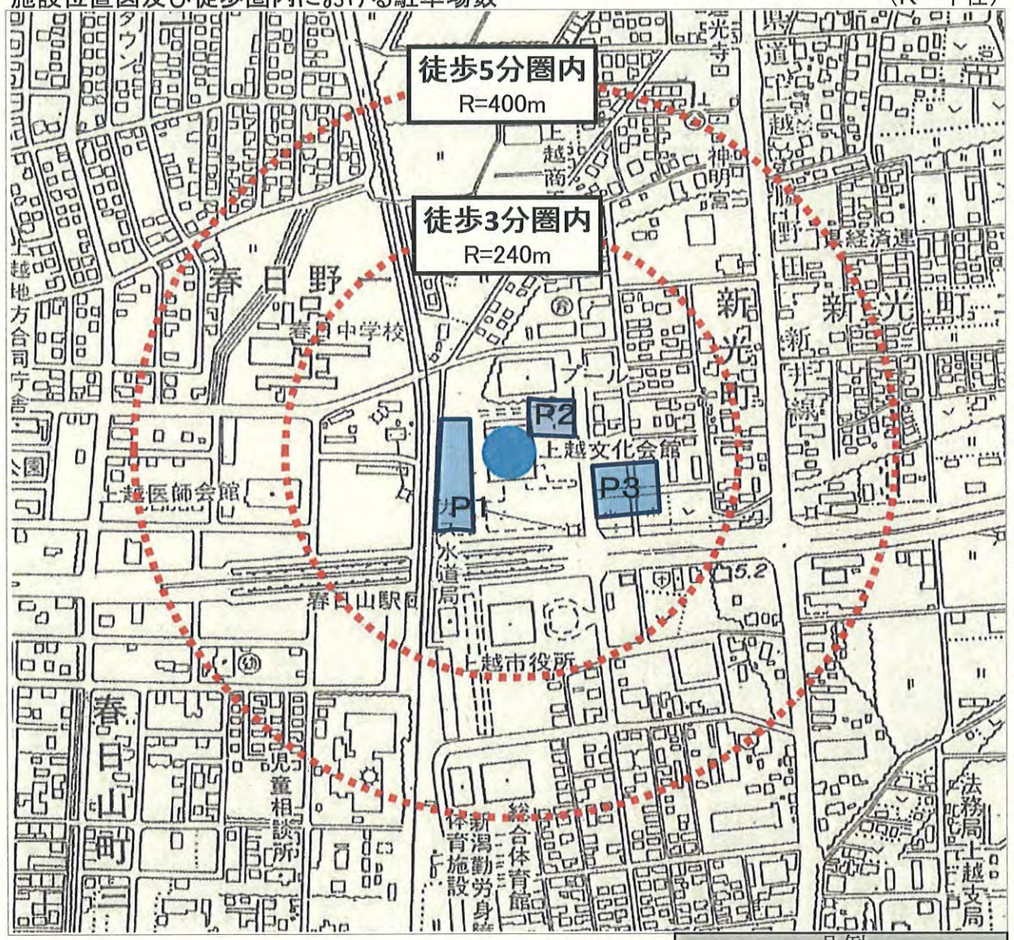
上越文化会館大ホール利用状況調査

施設概要

施設名	上越文化会館		大ホール、中ホール、会議室ほか	ホール施設規模	
所在地	新光町1丁目9-10	施設内容		ホール客席数	1,504席
運営方法	指定管理者			移動式客席数	0席
竣工年度	S53			客席・舞台面積	1,915m2
敷地面積	22,060m2			客席面積	1,320m2
延床面積	6,638m2			年間稼働率(H22実績)	52.4%
建築面積	-			年間総利用者数(H22実績)	約111,000人

施設位置図及び徒歩圏内における駐車場数

（R＝半径）



凡例	
P	施設専用駐車場
●	調査対象施設

徒歩圏内における駐車場台数（徒歩1分当たり80m）

徒歩3分圏内	R=240m	351台
徒歩5分圏内	R=400m	351台

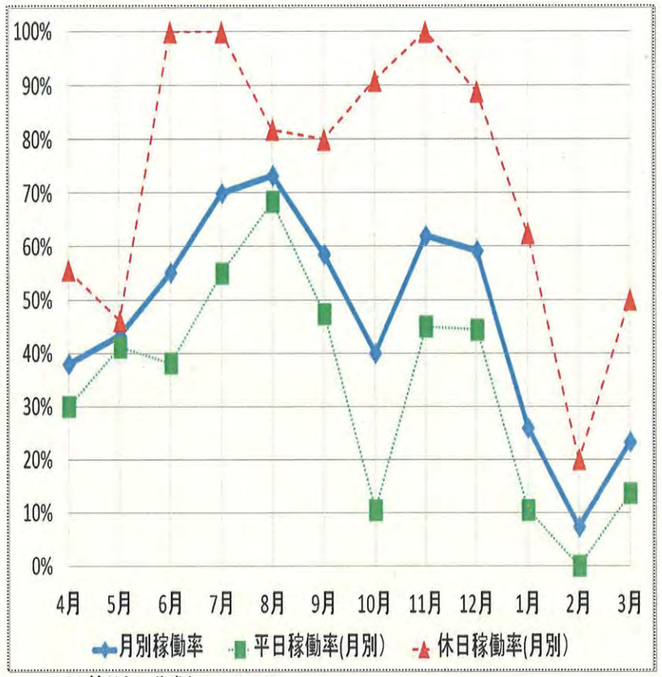
駐車場台数

駐車場番号	駐車台数	備考
P1	186台	無料
P2	11台	無料
P3	154台	無料
	台	
	台	
	台	
	台	

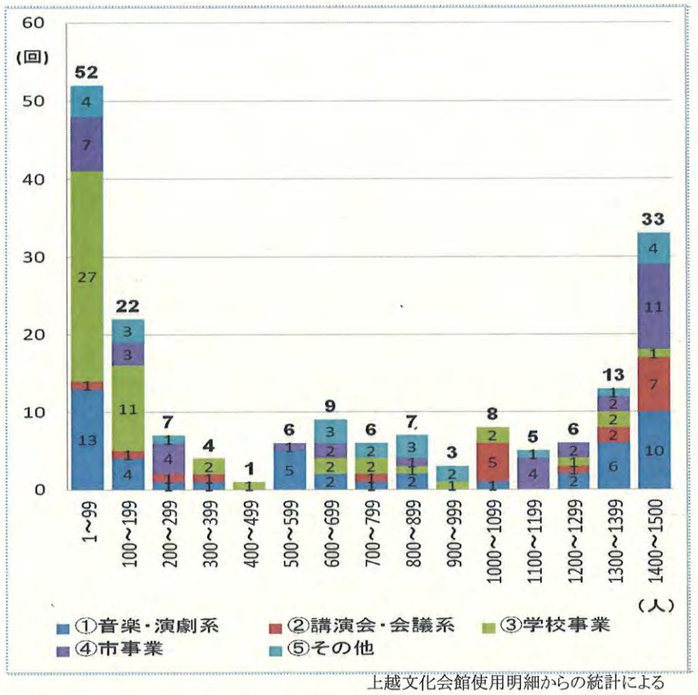
備考
文化会館専用駐車場では足りない場合、市役所駐車場が利用可能な場合あり。

上越文化会館大ホール

月別稼働率（平成22年度）



利用者数別利用回数（目的別含）（平成22年度） ※



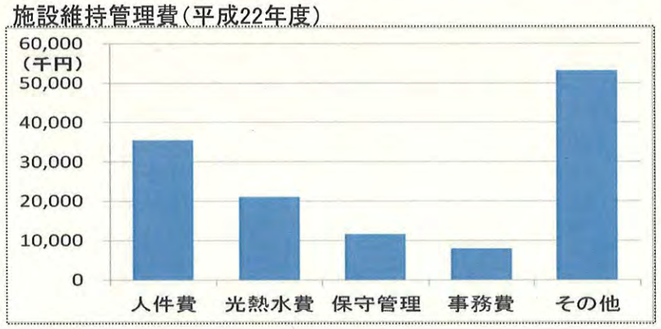
上越文化会館使用明細からの統計による

※目的別の分類について
①音楽・演劇系…合唱・ダンス・ピアノ・舞踊・軽運動（エアロビ・ヨガ等）
②講演会・会議系…主に市内の企業の会社研修等による講演会・会議
③学校事業…学校行事（音楽発表会・吹奏楽等の練習や発表会を含む）
④市事業…市主催の行事
⑤その他…自主事業・映画・イベント・営業活動

利用状況について

・月別稼働率は7.8月が最も高く、8月の利用を境に10月に向かって激減するが、11月に向かって再び増加する。
・平日は利用率が低く、高くても8月の68%であるが、休日稼働率は非常に高い。
・1000人以上1500人未満の団体利用が多く、全体の35%を占めている。
・500人以上1000人未満の利用は、全体の約20%を占め施設規模よりも若干小規模な団体の利用である。
・200人未満の利用は多いが、準備、リハーサルや学校事業の利用である。
・学校事業は主に音楽発表会等であることから、純然たる音楽・演劇系の利用と合わせると、50%を超える利用がある。

施設維持管理費（平成22年度）



（千円）

科目	金額	備考
人件費	35,465	正職員、臨時職員等
光熱水費	21,107	電気、水道、ガス料金、燃料費
保守管理	11,611	舞台、エレベーター、消防設備等
事務費	7,892	消耗品,印刷製本費他
その他	53,196	備品購入費、修繕料等
合計	129,271	

施設管理の現状及び課題等（施設管理者からのヒヤリングによる）

【現状・課題】
・1,500人の人数より少ないイベントが多いので、ホールの間仕切りができれば利用者とホールのバランスが図られる。
・利用者数が多い時は専用駐車場で対応できないので、市役所駐車場を借りるようにしている。
・平日は市役所駐車場が借用できないため、駐車台数は限られる。

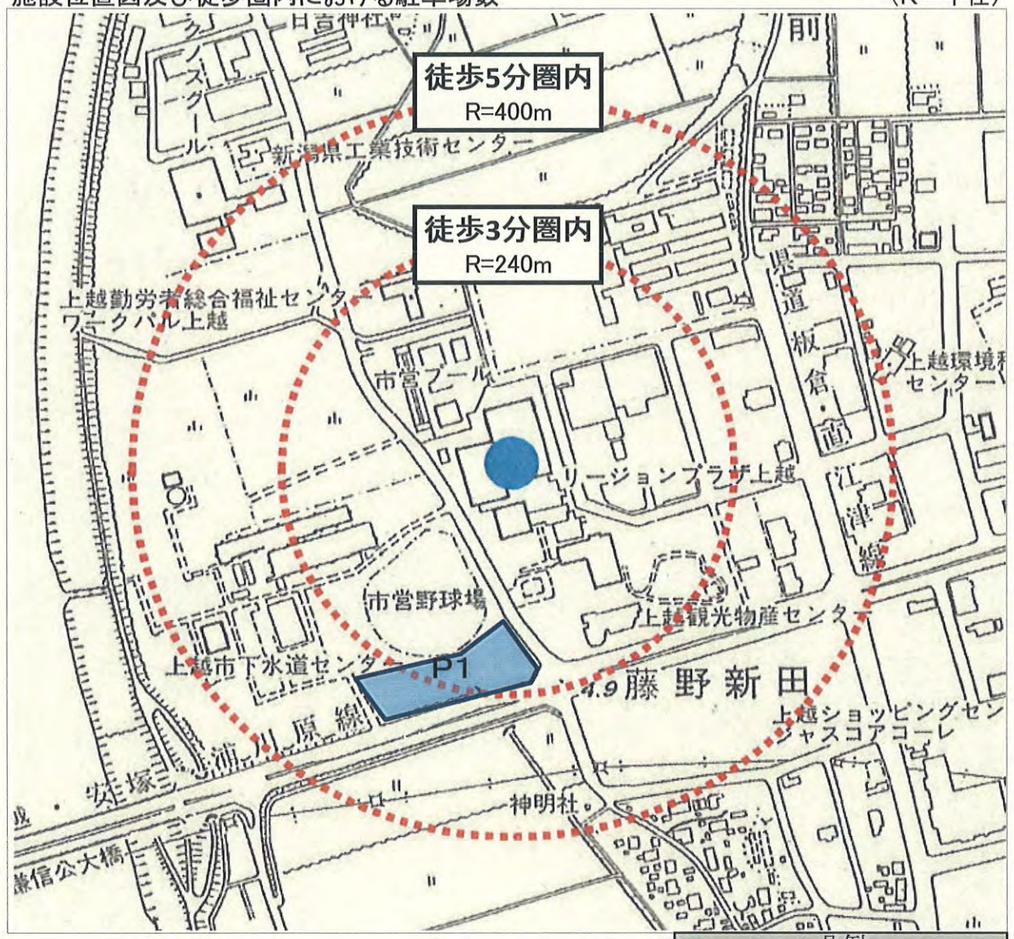
【利用状況等】
・1回当りの平均利用人数が、ホール規模に比べ少人数での利用となっている。
・市行事や学校行事を含んでいるため、毎年の利用状況が高い。

リージョンプラザ上越コンサートホール利用状況調査

施設概要

施設名	リージョンプラザ上越			ホール施設規模	
所在地	下門前446-2	施設内容	コンサートホール、インドアスタジアム、レジャープール、アイスアリーナ、会議室、練習室ほか	ホール客席数	477席
運営方法	指定管理者			移動式客席数	0席
竣工年度	S59			客席・舞台面積	514m2
敷地面積	47,078m2			客席面積	352m2
延床面積	15,910m2			年間稼働率(H22実績)	62.2%
建築面積	11,333m2			年間総利用者数(H22実績)	約70,000人

施設位置図及び徒歩圏内における駐車場数　（R＝半径）



凡例	
P	施設専用駐車場
●	調査対象施設

徒歩圏内における駐車場台数　（徒歩1分当たり80m）

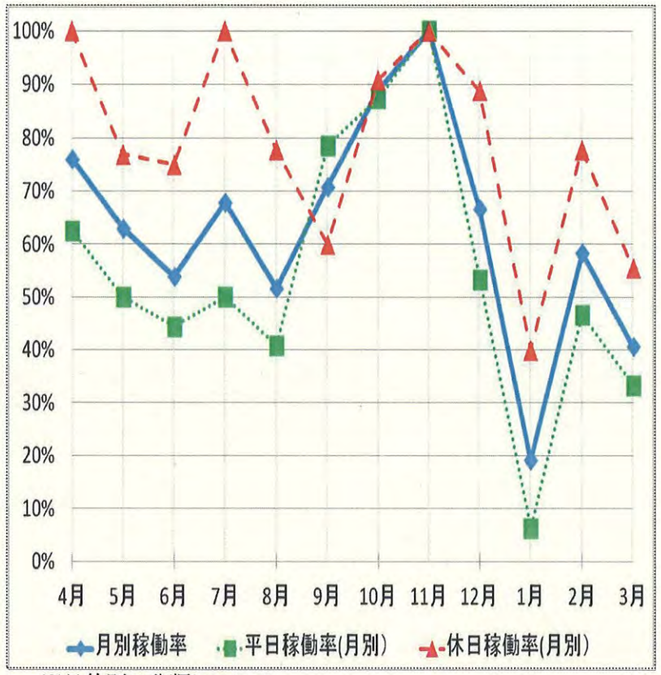
徒歩3分圏内	R=240m	500台
徒歩5分圏内	R=400m	500台

駐車場台数

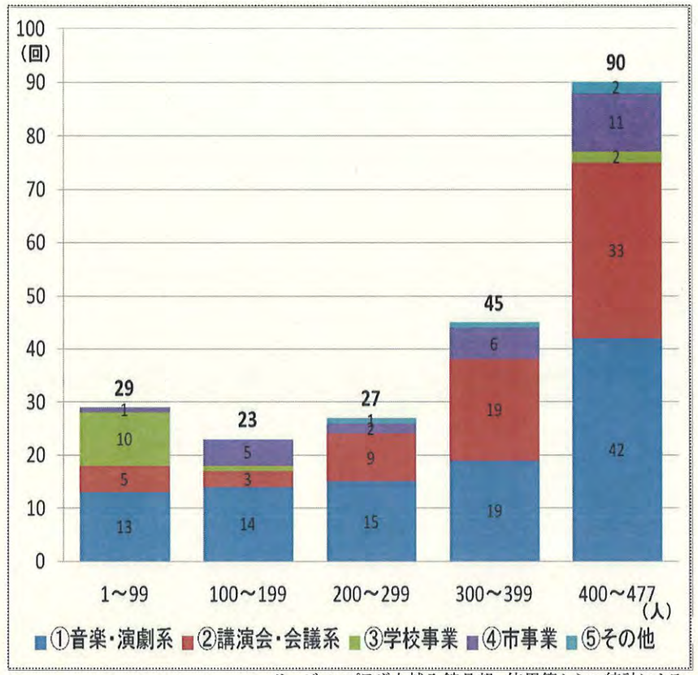
駐車場番号	駐車台数	備考
P1	500台	無料
	台	
	台	
	台	
	台	
	台	
	台	
備考		

リージョンプラザ上越コンサートホール

月別稼働率（平成22年度）



利用者数別利用回数（目的別含）（平成22年度）　※



リージョンプラザ上越入館月報、使用簿からの統計による

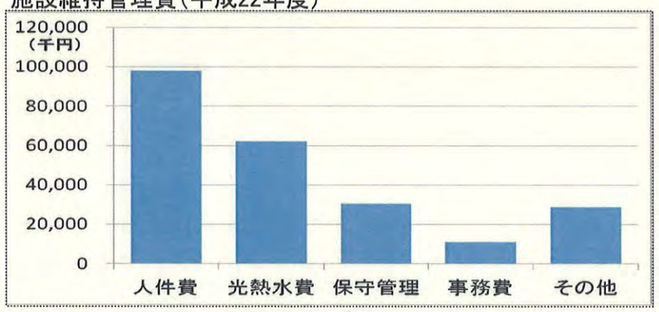
※目的別の分類について
①音楽・演劇系…合唱・ダンス・ピアノ・舞踊・軽運動（エアロビ・ヨガ等）
②講演会・会議系…主に市内の企業の会社研修等による講演会・会議
③学校事業…学校行事（音楽発表会・吹奏楽等の練習や発表会を含む）
④市事業…市主催の行事
⑤その他…自主事業・映画・イベント・営業活動

利用状況について

・8月の利用を境に秋に向かって右肩上がりとなり、11月の利用を境に激減する。
・特に10.11月は休日、平日共に80%を超え、11月は100%の稼働率となっている。
・利用人数は400人以上の団体が多く、全体の約40%を占めている。
・利用目的は音楽・演劇系が最も高く、全体の約20%、次いで講演会・会議系が全体の約15%である。

施設維持管理費（平成22年度）

（千円）



科目	金額	備考
人件費	97,900	正職員、夏季バイト、臨時職員
光熱水費	62,220	電気、水道、ガス料金等
保守管理	30,604	アイスアリーナ、コンサートホール、インドア施設委託料、舞台装置保守点検等
事務費	11,198	消耗品、印刷製本費、通信運搬費等
その他	29,038	報償費、備品購入費、修繕料等
合計	230,960	

※アイスアリーナ、インドアスタジアム維持管理費を含む

施設管理の現状及び課題等（施設管理者からのヒヤリングによる）

【現状・課題】　（注）（声）は利用者が指定管理者との雑談でよく聞く内容であり、要望内容を聞き取ったものではない。
・冷暖房の調節が機能的に難しく、特に、客席と舞台裏の温度差が大きい。
・利用者数が多い時は臨時駐車場（砂利敷）を開設する。また、他施設の駐車場を借用することがある。
・（声）700～800人クラスのホールが市内にもう一つほしい。　・（声）100人規模の会議室が欲しい。
・（声）楽屋裏にエレベーターが欲しい。
・（声）通路が狭い。また、器材庫がないため通路に器材等を置くことになる。
【利用状況等】
・練習室（3部屋）は、ほぼ毎日、利用されており需要が非常に高い。
・利用の大半が音楽系によるもので、毎年、全体の半分以上を占めている。
・ホールの利用について抽選となる月（9月～11月）がある。

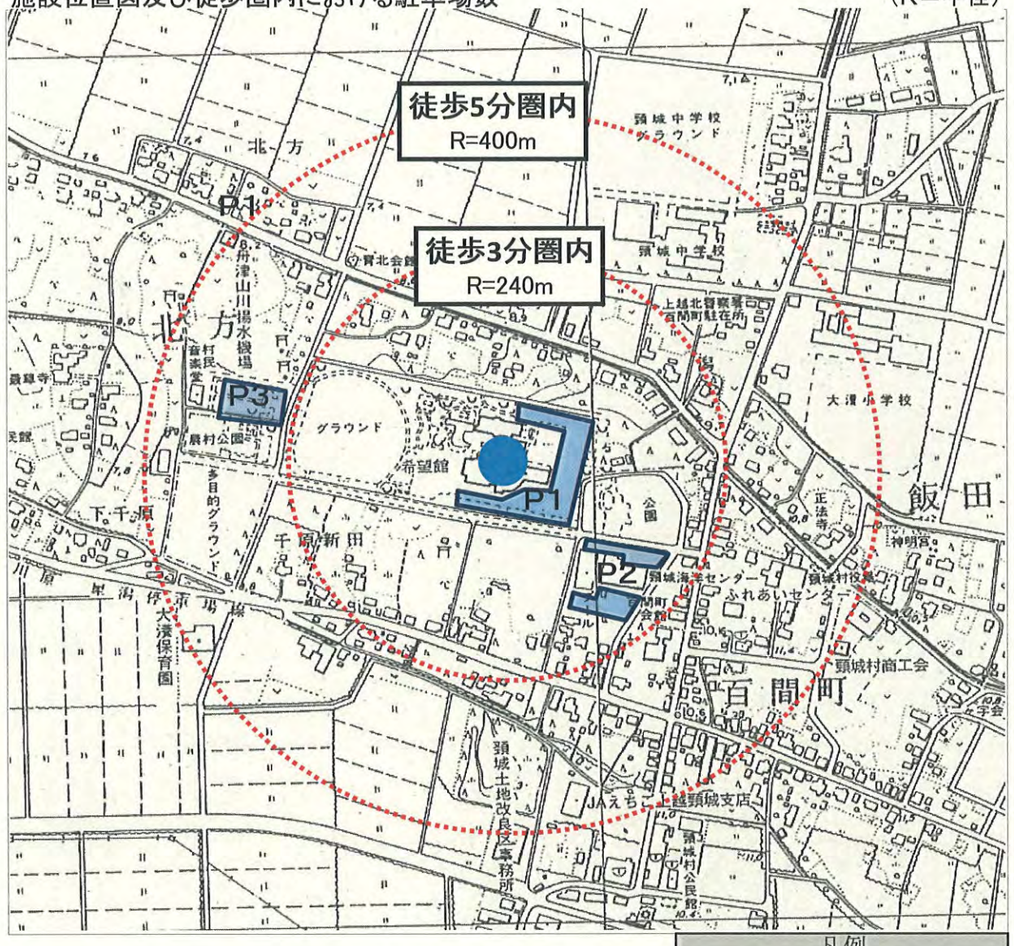
くびき希望館多目的ホール利用状況調査

施設概要

施設名	くびき希望館			ホール施設規模	
所在地	頸城区百間町716	施設内容	多目的ホール、図書室、会議室、音楽室、浴室ほか	ホール客席数	474席
運営方法	直営			移動式客席数	312席
竣工年度	H3			客席・舞台面積	529m2
敷地面積	92,000m2			客席面積	397m2
延床面積	5,863m2			年間稼働率(H22実績)	15.6%
建築面積	18,000m2			年間総利用者数(H22実績)	約19,000人

施設位置図及び徒歩圏内における駐車場数

（R＝半径）



凡例	
P	施設専用駐車場
●	調査対象施設

徒歩圏内における駐車場台数（徒歩1分当たり80m）

徒歩3分圏内	R=240m	220台
徒歩5分圏内	R=400m	260台

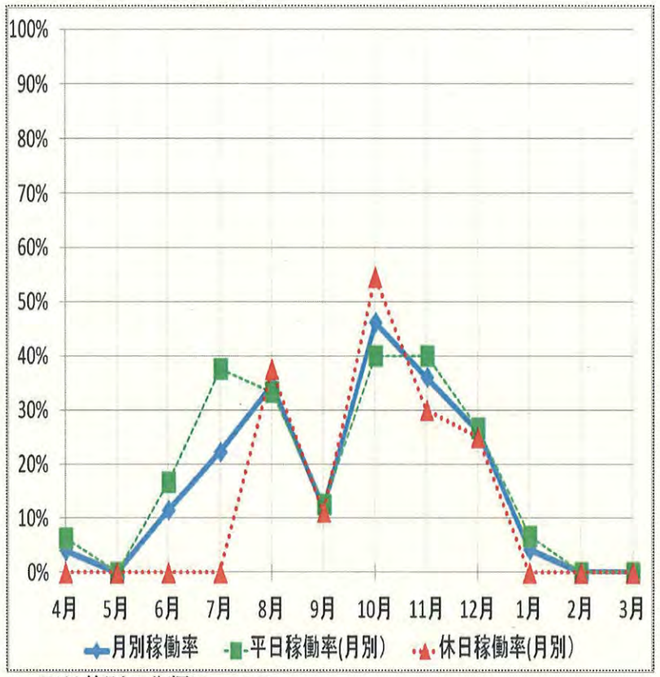
駐車場台数

駐車場番号	駐車台数	備考
P1	180台	無料
P2	40台	無料、B&G海洋センター
P3	40台	無料、いきいきコート
	台	
	台	
	台	
	台	

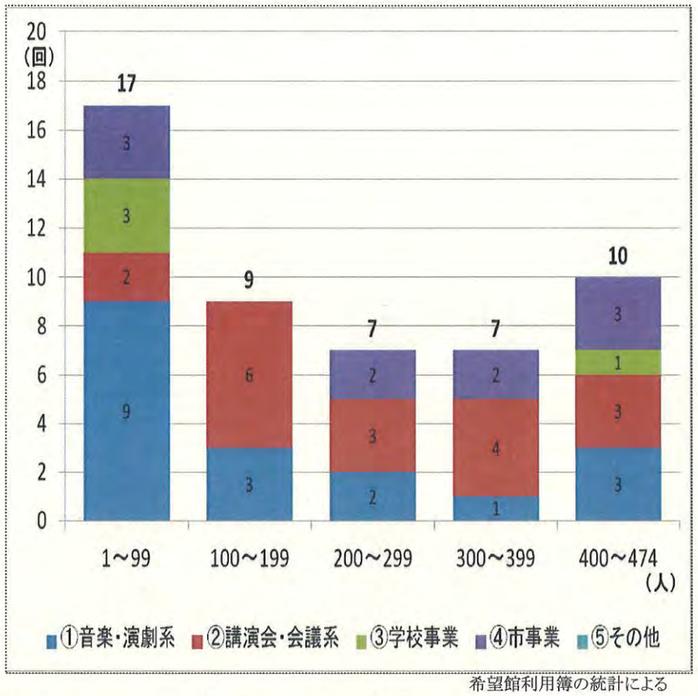
備考
頸城区総合事務所駐車場利用可能な場合あり。

希望館多目的ホール

月別稼働率（平成22年度）



利用者数別利用回数（目的別含）（平成22年度） ※



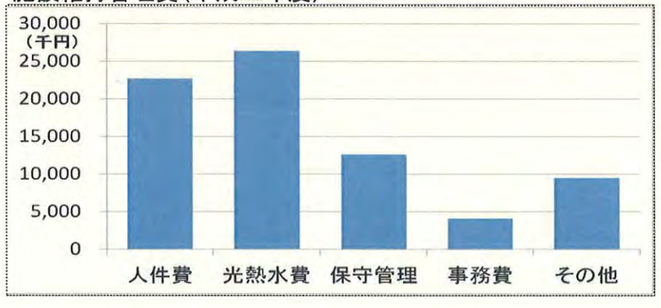
希望館利用簿の統計による

※目的別の分類について
①音楽・演劇系…合唱・ダンス・ピアノ・舞踊・軽運動（エアロビ・ヨガ等）
②講演会・会議系…主に市内の企業の会社研修等による講演会・会議
③学校事業…学校行事（音楽発表会・吹奏楽等の練習や発表会を含む）
④市事業…市主催の行事
⑤その他…自主事業・映画・イベント・営業活動

利用状況について

・8月から12月は、休日、平日の稼働率はほぼ同じである。
・多目的のホールではあるが、平土間形式の利用はあまりない。
・冬場から春先にかけての稼働率は低い状態である。
・音楽・演劇系と講演会・会議系の利用が大半であり、全体の約70%を占めいている。
・講演会・会議系では、市内企業による会社研修会の利用や会議も行われており、利用率を上げている。

施設維持管理費（平成22年度）



（千円）

科目	金額	備考
人件費	22,704	臨時職員賃金（受付、夜間管理）等
光熱水費	26,344	電気、水道、ガス料金等
保守管理	12,633	音響設備、舞台保守、冷暖房保守等
事務費	4,063	消耗品費、通信運搬費等
その他	9,472	修繕料、集落排水使用料等
合計	75,216	

※正規職員が在中しているが、正規職員分は集計に含めていない
※工事費は当該年度のみであるためこの集計から除外した

施設管理の現状及び課題等（施設管理者からのヒヤリングによる）

【現状・課題】
・椅子の全てが可動式であるので色々と対応ができるが、椅子をセットするには人手が必要で大変である。
・また、一つひとつの椅子がやや小さく、階段席は人が歩くと揺れてしまう。
・ステージや袖部がやや狭い。
・コンサート、会議などの利用が重なると施設専用駐車場が不足するため、総合事務所駐車場を利用可能とすることがある。

【利用状況等】
・稼働率が悪い。
・主な利用状況は会議や音楽系であり、音楽系の設備があるにもかかわらずH22は会議の利用も多い。

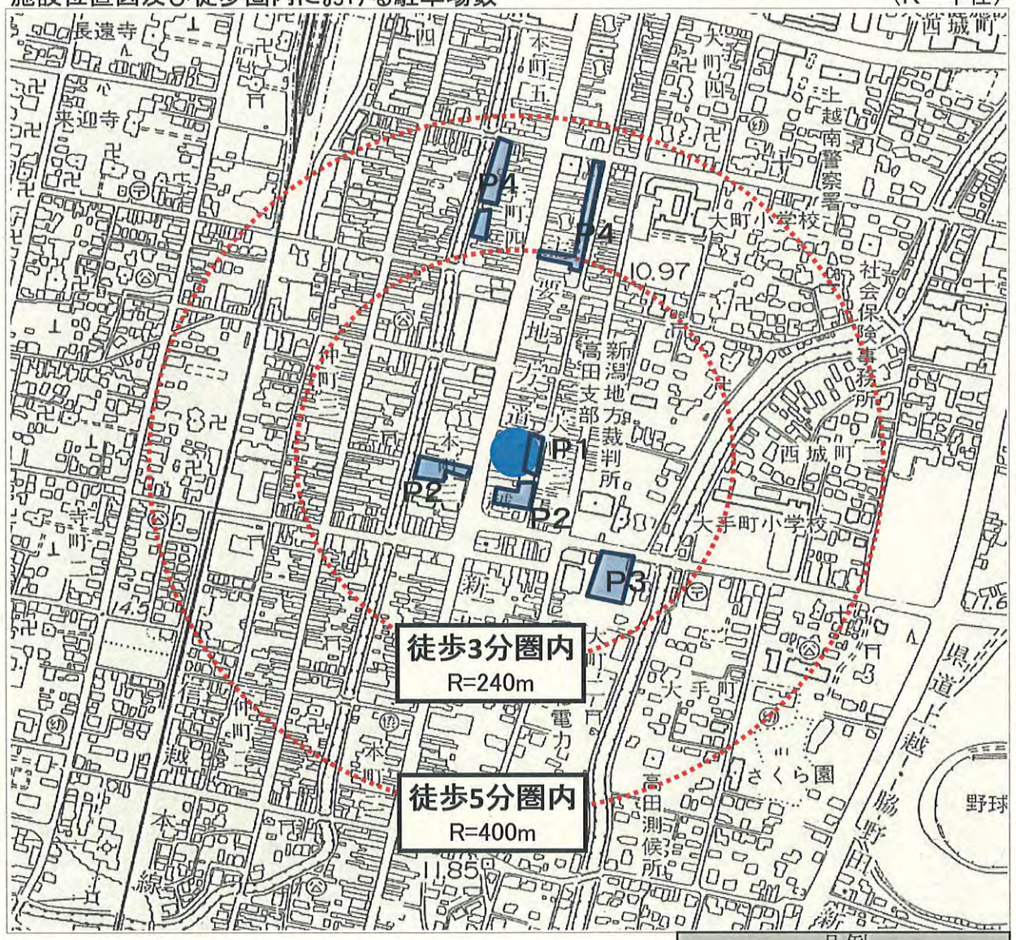
雁木通りプラザ多目的ホール利用状況調査

施設概要

施設名	雁木通りプラザ			ホール施設規模	
所在地	本町3丁目2-26	施設内容	多目的ホール、和室、市役所南出張所、コミュニティーFM局ほか	ホール客席数	150席
運営方法	直営			移動式客席数	0席
竣工年度	H11			客席・舞台面積	159m2
敷地面積	1,785m2			客席面積	159m2
延床面積	3,167m2			年間稼働率(H22実績)	83.9%
建築面積	1,234m2			年間総利用者数(H22実績)	約12,000人

施設位置図及び徒歩圏内における駐車場数

（R＝半径）



凡例	
P	施設専用駐車場
●	調査対象施設

徒歩圏内における駐車場台数（徒歩1分当たり80m）

徒歩3分圏内	R=240m	159台
徒歩5分圏内	R=400m	251台

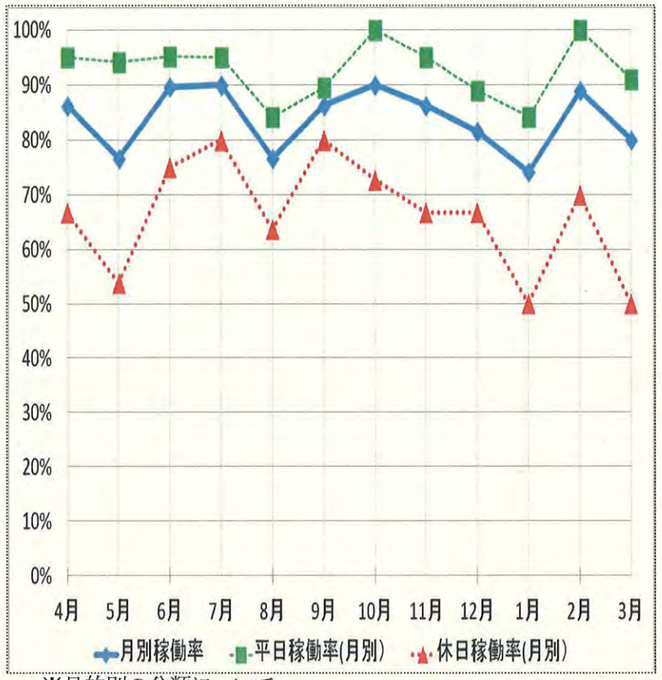
駐車場台数

駐車場番号	駐車台数	備考
P1	43台	有料、雁木通りプラザ
P2	54台	有料、本町3丁目
P3	62台	有料、大手町
P4	92台	有料、本町4丁目
	台	
	台	
	台	

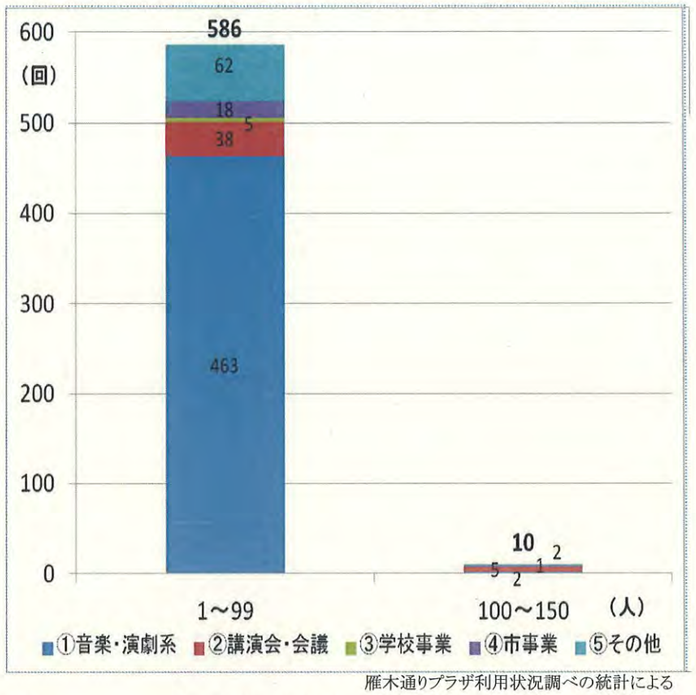
備考

雁木通りプラザ多目的ホール

月別稼働率（平成22年度）



利用者数別利用回数（目的別含）（平成22年度）※



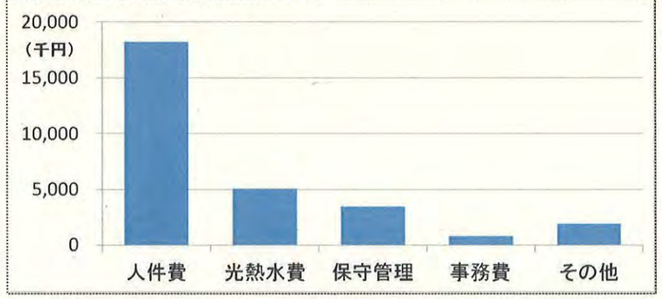
雁木通りプラザ利用状況調べの統計による

※目的別の分類について
①音楽・演劇系…合唱・ダンス・ピアノ・舞踊・軽運動（エアロビ・ヨガ等）
②講演会・会議系…主に市内の企業の会社研修等による講演会・会議
③学校事業…学校行事（音楽発表会・吹奏楽等の練習や発表会を含む）
④市事業…市主催の行事
⑤その他…自主事業・映画・イベント・営業活動

利用状況について

・年間を通し、休日、平日の稼働状況はほぼ同じ傾向である。
・平土間形式のため、「合唱」「ダンス」などの他、「軽運動」を含めた音楽・演劇系の利用が主である。
・音楽・演劇系は全体の約80%を占めており、利用団体の年齢層は比較的年輩層の利用が多い状況である。

施設維持管理費（平成22年度）



（千円）

科目	金額	備考
人件費	18,227	総合管理業務、作業員賃金等
光熱水費	5,067	電気、水道、ガス料金等
保守管理	3,485	電気保安、夜間警備等
事務費	829	消耗品費、通信運搬費等
その他	1,928	修繕料、下水道使用料、設備工事等
合計	29,536	

※正規職員が在中しているが、正規職員分は集計に含めていない

施設管理の現状及び課題等（施設管理者からのヒヤリングによる）

【現状・課題】
・多目的ホールであるため音響設備が整っていない。
・全てパイプ椅子形式によるもので、舞台やステージもない。
・半地下式駐車場が整備されているが、徒歩、自転車で来館する利用者もある。
・半地下式駐車場が満車になったとしても本町3丁目駐車場、大手町駐車場といった近場の駐車場がある。
・半地下式駐車場は施設利用者以外の街中利用者でも利用できる。

【利用状況等】
・1回当りの平均利用人数が、ホール規模に比べ少人数での利用となっている。
・利用回数が多い。特に社交ダンスクラブなどの演劇系の団体による活動が頻繁である。

春日謙信交流館集会室利用状況調査

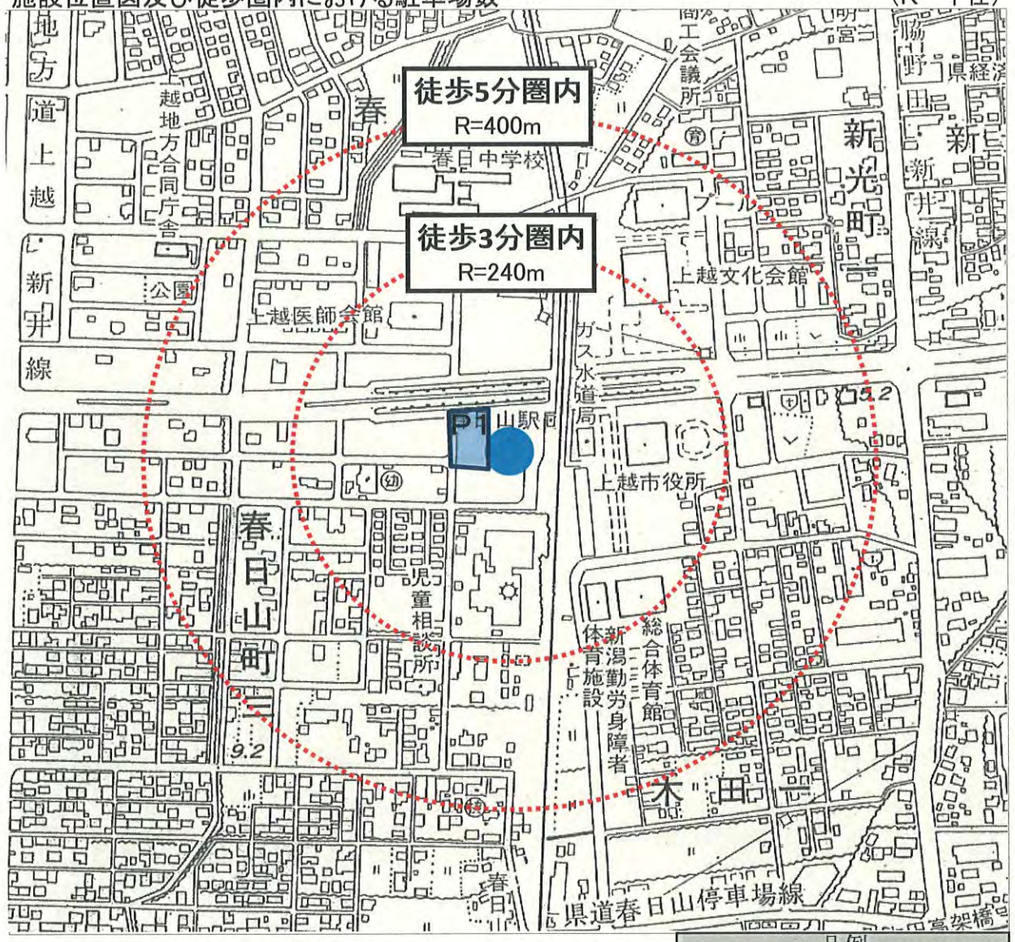
施設概要

施設名	春日謙信交流館			ホール施設規模※1	
所在地	春日山町3丁目1-60	施設内容	集会室(3部屋に区分け可能)、会議室、和室、調理室ほか	ホール客席数	300席
運営方法	直営			移動式客席数	0席
竣工年度	H20			客席・舞台面積	270m2
敷地面積	3,598m2			客席面積	216m2
延床面積	879m2			年間稼働率(H22実績)※2	94.7%
建築面積	879m2			年間総利用者数(H22実績)	約30,000人

※1ホールは間仕切りにより3部屋に区分可能　※2部屋別年間稼働率　集会室1　72%　集会室2　61%　集会室3　68%　集会室1～3　31%

施設位置図及び徒歩圏内における駐車場数

(R＝半径)



凡例	
P	施設専用駐車場
●	調査対象施設

徒歩圏内における駐車場台数 (徒歩1分当たり80m)

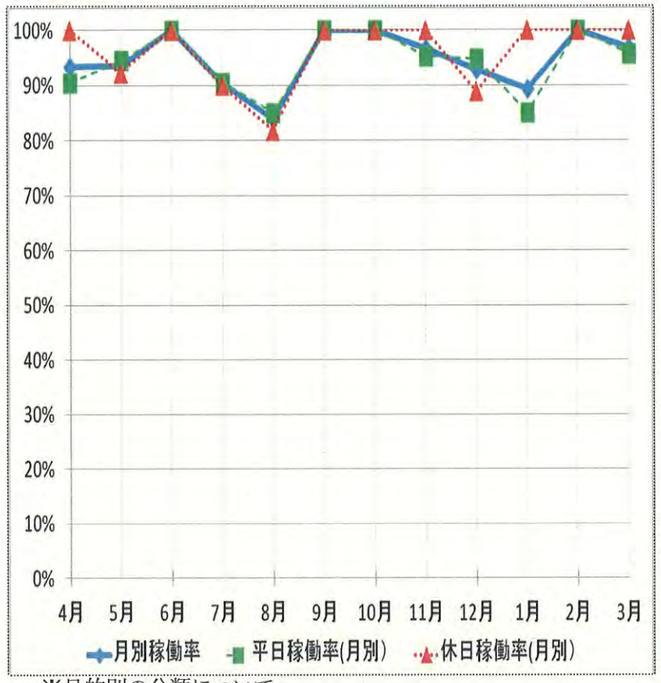
徒歩3分圏内	R=240m	50台
徒歩5分圏内	R=400m	50台

駐車場台数

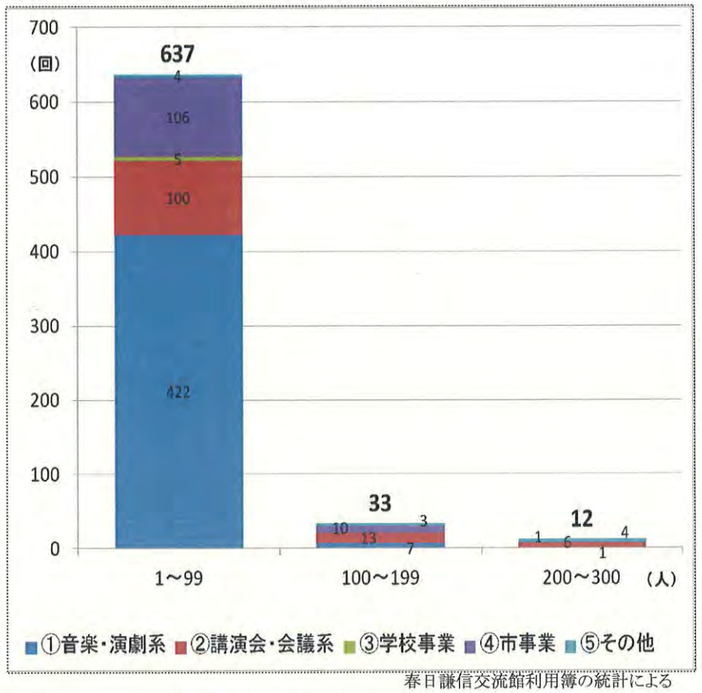
駐車場番号	駐車台数	備考
P1	50台	無料
	台	
	台	
	台	
	台	
	台	
	台	
備考		

春日謙信交流館集会室

月別稼働率(平成22年度)



利用者数別利用回数(目的別含)(平成22年度) ※



春日謙信交流館利用簿の統計による

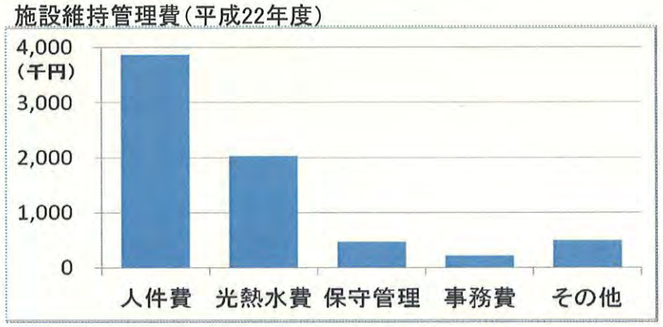
※目的別の分類について

①音楽・演劇系…合唱・ダンス・ピアノ・舞踊・軽運動(エアロビ・ヨガ等)
②講演会・会議系…主に市内の企業の会社研修等による講演会・会議
③学校事業…学校行事(音楽発表会・吹奏楽等の練習や発表会を含む)
④市事業…市主催の行事
⑤その他…自主事業・映画・イベント・営業活動

利用状況について　※ホールは3部屋に区切ることができ、1部屋の利用で1回と集計した

・年間を通し、休日、平日の稼働率はほぼ同じ状態で推移し、非常に高い。
・11月以降の冬場の稼働率も安定している。
・平土間形式のため、「合唱」「ダンス」などの他、「軽運動」を含めた音楽・演劇系の利用が主である。
・音楽・演劇系は全体の約60%を占めており、利用団体の年齢層は比較的年輩層の利用が多い。

施設維持管理費(平成22年度)



(千円)

科目	金額	備考
人件費	3,874	総合管理業務(受付、トイレ清掃等)
光熱水費	2,033	電気、水道、ガス料金等
保守管理	474	消防設備、機械警備業務等
事務費	218	消耗品費、通信運搬費等
その他	496	修繕料、下水道使用料等
合計	7,095	

施設管理の現状及び課題等(施設管理者からのヒヤリングによる)

【現状・課題】
・集会室は可動式の壁で区切ることができるが、特別注文の高さと重さのある壁のため、レールに無理がかかり歪んでしまって隙間が空くことがある。
・壁をしても音が漏れる。
・施設自体は土足可能であるが、集会室は土足禁止のため不便をかけている。
・施設駐車場が不足することは少ないが、不足の場合は市役所駐車場を借用することがある。
・徒歩、自転車で来館する地元利用者もいる。

【利用状況等】
・1回当りの平均利用人数が、ホール規模に比べ少人数での利用となっている。
・利用回数が多い。特に社交ダンスクラブなどの演劇系の団体による活動が頻繁である。